

株式会社 ヒロセ

2019 年度 環境活動レポート

(対象期間 2019年4月～2020年3月31日)

作成日： 2020年5月11日

□ごあいさつ

株式会社ヒロセは、昭和28年の創業以来、環境保全を念頭にした一般廃棄物収集運搬処分業に一貫して取り組んでまいりました。しかし環境汚染は進み続け、今や深刻な問題となっています。それを受けて、従前より徹底して環境浄化に配慮し続けている業務処理に加えて平成14年にリサイクルセンター（一般廃棄物中間処理業）を立ち上げました。可能な限り環境負荷を減らす<リデュース・リユース・リサイクル>の「3R」に取り組む他、フロン回収業やバイオディーゼル燃料の精製を通して地球温暖化防止をはじめとする環境対策に努めています。また、大気環境や水質を分析する「計量証明事業」を展開。自社の運搬車にバイオディーゼル燃料を取り入れるなど、一助から広がるエコロジーにも、今後一層注力致します。これからも「お客様第一」をモットーに感謝の気持ちを持ち続け、社会から喜ばれ必要とされる事業活動の推進を目指して行きます。皆さまの笑顔と、美しい地球のために一。

株式会社 ヒロセ
代表取締役 廣瀬 眞弓

環 境 方 針

<環境理念>

株式会社ヒロセは、環境保全についてリサイクルに課せられた事業活動における最重要課題の一つとして認識し、その環境側面を考慮して以下の各環境保全活動を推進し、地球環境に優しく信頼される事業活動を推進します。

<環境保全への行動指針>

1. 当社の環境方針は社長が定める。
2. 環境管理責任者は環境方針を社内に掲示するとともに、従業員又は当社の為に働く全ての人に周知徹底する。
3. 環境管理者は外部利害関係者からの要請がある場合は環境方針を開示する。
4. 社長は環境方針を定期的に年1回（原則4月）及び、必要に応じて随時方針の見直しを行う。
5. 目的・目標の設定及びレビューの為に枠組みを与える。

<行動指針>

1. 当社に適用される環境法規制及び同意するその他の要求事項を厳守します。
2. 事業活動にあたっては、次の項目を重点的に実施します。
 - ①二酸化炭素排出量(電力・自動車燃料)、水使用量(水道水の削減)、当社の排出(一般・産廃)を削減するために省エネルギー、省資源、廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進します。
3. 行政機関や環境団体に協力し、率先して社外の環境保全活動に努めます。
 - ①「グリーン購入」環境に配慮した商品・サービスを積極的に購入します。
 - ②環境に配慮したサービスとして、環境問題への意識向上と働く意義を子供たちに伝えるため、地域の学校を対象に職場学習や施設見学会を実施します。また、地域のクリーンな環境を守る為に、いち早く収集状況を把握して行政機関に情報開示し見える化に努めます。
 - ③化学物質の使用量を削減し、環境負荷低減に努めます。
4. 環境目的・目標及び実施計画を設定し活動すると共に定期的な見直しによる継続的な改善を推進します。
5. この環境方針は組織で働く又は組織の為に働く全ての人に周知徹底すると共に、一般に公開します。

制定日： 2011年11月1日

改定日： 2018年5月14日

代表取締役社長 廣瀬眞弓

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ヒロセ 代表取締役社長 廣瀬 眞弓

(2) 所在地

本社 滋賀県蒲生郡日野町松尾960-1
 第一工場 滋賀県甲賀市水口町八田886-6
 第二工場 滋賀県蒲生郡日野町大谷416-8
 湖南支店 滋賀県湖南市水戸町1-7
 甲賀支店 滋賀県甲賀市水口町八田886-6
 内池倉庫 滋賀県蒲生郡日野町大字内池977
 上野田倉庫 滋賀県蒲生郡日野町大字上野田969
 ひばり野倉庫 滋賀県蒲生郡日野町大字上野田170

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部課長 上山 知己 TEL : 0748-52-0943(代)
 担当者 総務部 椋木 啓仁 E-mail: mukunoki@hirosecl.d.co.jp

(4) 事業内容

一般廃棄物収集運搬業、一般廃棄物処理業処分業、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物処理運搬業
 産業廃棄物処理業処分業、下水道管路維持管理業、建築物等貯水槽清掃業、浄化槽保守点検・清掃業
 一般計量証明(質・量)及び環境計量証明事業(濃度)、土木(管)工事業、冷媒フロン回収業、古物商・金属屑商

(5) 事業の規模

法人設立 平成5年6月1日 資本金 2000 万円 売上高 11.4 億円 (令和元年度)

	本 社	第一工場	第二工場	湖南支店	甲賀支店	資材倉庫(3)	合計
従業員	64 名	12 名	9 名	1 名	1 名	無人	87 名
延べ床面積	6,467 m ²	11,813 m ²	4123 m ²	42 m ²	20 m ²	3,573 m ²	26,038 m ²

受託した一般廃棄物・産業廃棄物の処理量

収集運搬量	17,037 t		
中間処理量	3,858 t	うち再資源化量	3,183 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	675.24 t	うち再資源化量	0 t

車両台数

車種	台数	備 考
2.2tパッカー車	2台	
2.25tパッカー車	1台	
2.35tパッカー車	1台	
2.4tパッカー車	7台	内一台BDF使用車両
2.45tパッカー車	1台	
2.5tパッカー車	1台	
2.7tパッカー車	1台	
2.95tパッカー車	2台	
3tパッカー車	2台	
3.2tパッカー車	1台	
2tトラック	7台	
10tトラック	1台	
3.0klバキューム車	2台	一般汲取り用
3.4klバキューム車	1台	浄化槽用
3.5klバキューム車	1台	浄化槽用
3.6klバキューム車	3台	一般汲取り・浄化槽用
3.7klバキューム車	3台	一般汲取り・浄化槽用
1.55klバキューム車	1台	洗浄バキューム車
1.85klバキューム車	1台	洗浄バキューム車
2.2klバキューム車	1台	ハイドロバキューム汚水
3.0klバキューム車	1台	ハイドロバキューム汚水
9.4klバキューム車	1台	ハイドロバキューム汚水
特殊車両	7台	コンテナ車、洗浄車、TVカメラ車、他
普通車両	16台	
軽車両	10台	
合計	75台	

主要設備

名称	台数	備考
二軸破碎機	1基	第一工場 能力：0.617t/h
ペットボトル減容機	2基	第一工場 能力：0.2t/h、0.57t/h
空缶プレス機	1基	第一工場 能力：0.2t/h
発泡スチロール減容機	1基	第一工場 能力：0.05t/h
破集袋機	1基	第二工場 能力：1.0t/h
一軸破碎機	2基	第二工場 能力：0.8t/h、1.0t/h
二軸破碎機	1基	第二工場 能力：1.0t/h
RPF成形機	1基	第二工場 能力：0.6t/h
圧縮梱包器	1基	第二工場 能力：1.0t/h
オートアナライザー	1基	試験分析所 分析機器
ガスクロマトグラフ質量分析装置	1基	試験分析所 分析機器
ICP質量分析装置	1基	試験分析所 分析機器
イオンクロマトグラフ	1基	試験分析所 分析機器
大気中二酸化硫黄計測装置	1基	試験分析所 分析機器
大気中窒素酸化物計測装置	1基	試験分析所 分析機器

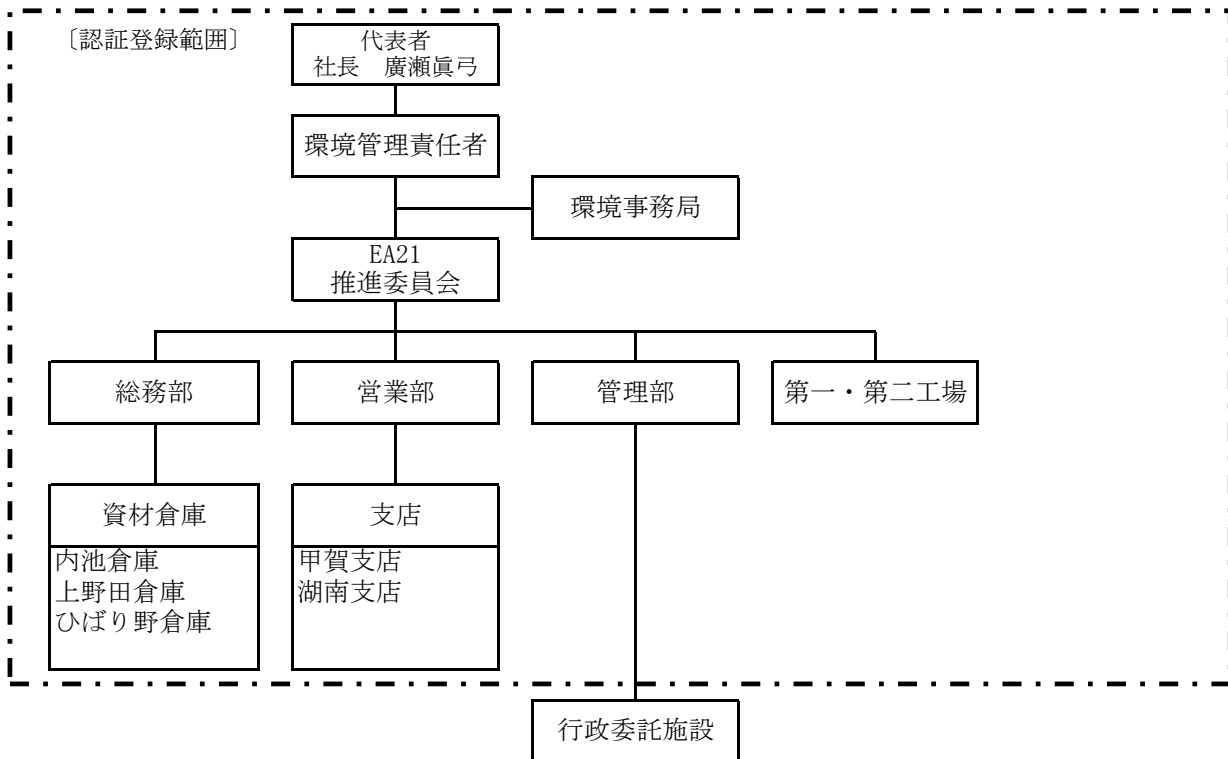
積み替え保管施設：なし

(6) 事業年度 毎年度 4月～3月

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ヒロセ
 対象事業所：本社、第一工場、第二工場、湖南支店、甲賀支店
 ひばり野倉庫、上野田倉庫、内池倉庫
 対象外：なし
 活動：一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業、
 下水道・貯水槽・浄化槽関連事業、一般廃棄物処分業、産業廃棄物処分業

□ 組織図



□許可の内容

一般廃棄物処理業収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
日野町	日(生)第29-8号	平成29年7月1日	令和3年7月3日	
甲賀市	甲賀市指令収第13号	平成29年6月16日	令和3年6月30日	
湖南市	第 1706224 号	平成29年7月1日	令和3年6月30日	
東近江市	東近江市廃対指令第105号	平成29年6月23日	令和3年7月3日	
東近江市	東近江市生環指令第413号	平成29年6月23日	令和3年7月3日	
愛荘町	指令番号第010号	平成28年7月27日	令和2年7月26日	

一般廃棄物処理業処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備考
日野町	平成30年度 日往第040201号	平成30年4月2日	令和2年4月10日	
甲賀市	甲賀市指令処第6号	平成30年4月5日	令和2年4月4日	

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類														
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	硝子・陶器くず	がれき類	燃え殻	低濃度PCB
滋賀県※1	第02500042387号	平成26年2月13日	令和3年2月12日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県※1	第01702042387号	平成25年1月21日	令和7年1月20日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福井県※1	第01802042387号	平成30年2月6日	令和7年2月5日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府※1	第02700042387号	平成28年8月24日	令和5年8月23日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都府※1	第02601042387号	平成26年12月1日	令和3年11月30日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三重県※1	第02400042387号	平成25年8月22日	令和2年8月21日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県※1	第02804042387号	平成25年10月8日	令和2年10月7日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県※1	第02300042387号	平成28年6月27日	令和5年5月12日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌山県※1	第03000042387号	令和2年5月7日	令和9年5月6日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山県※1	第03300042387号	平成26年9月4日	令和3年8月10日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富山県	第01609042387号	平成29年12月18日	令和6年12月17日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県※1	第02900042387号	平成29年4月27日	令和6年4月26日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県※1	第02100042387号	平成29年5月22日	令和6年5月21日	無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類															
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	硝子・陶器くず	がれき類	燃え殻	低濃度PCB	
滋賀県※1	第02550042387号	平成29年10月17日	令和6年10月2日	無	◎	◎	◎	◎											◎	◎
石川県※1	第01755042387号	平成27年11月10日	令和4年9月6日	無	◎			◎												
大阪府※1	第02750042387号	平成28年8月23日	令和5年8月22日	無	◎	◎	◎	◎												
京都府	第02650042387号	平成30年3月29日	令和5年3月28日	無																◎
鳥取県	第03154042387号	平成30年2月22日	令和5年2月21日	無																◎
岡山県※1	第03350042387号	平成29年4月7日	令和3年8月10日	無	◎	◎	◎	◎												◎◎

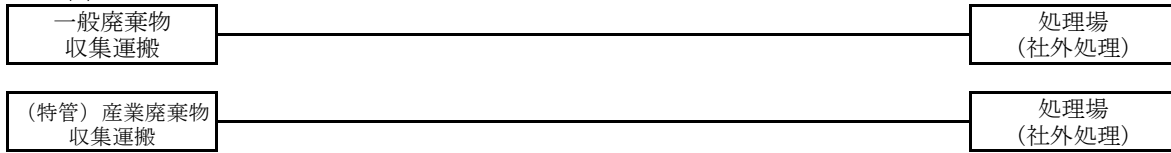
産業廃棄物処分業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業範囲	廃棄物の種類																		
					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	硝子・陶器くず	がれき類	燃え殻	低濃度PCB				
滋賀県	第02520042387号	平成26年4月10日	令和6年4月9日	中間処理																			
				破碎					○	○	○												
				圧縮固化					○	○	○												
				圧縮					○														
				選別					○	○	○												

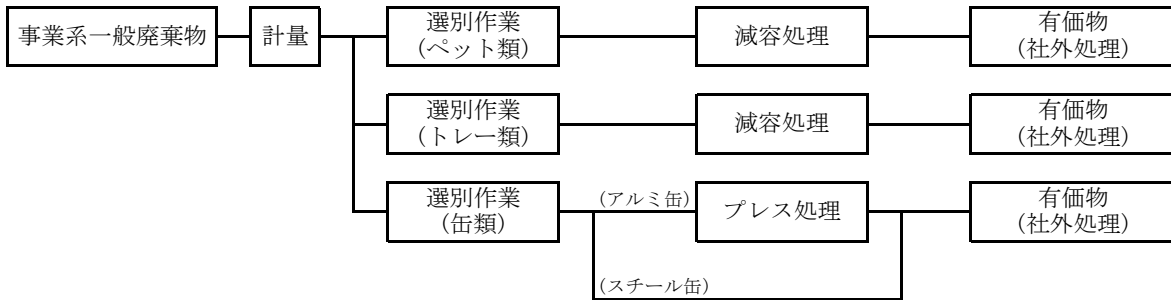
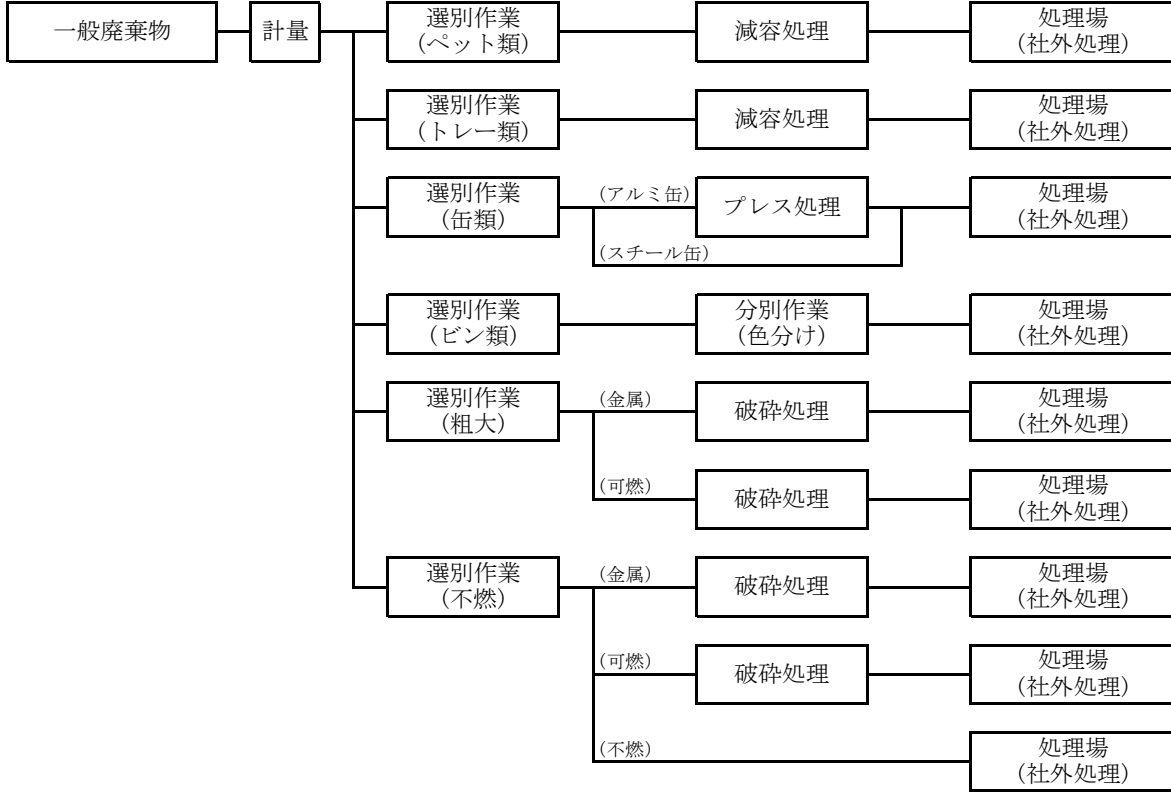
※1 優良産廃処理業者者認定制度で優良認定を受けている許可

□ 廃棄物処理フロー

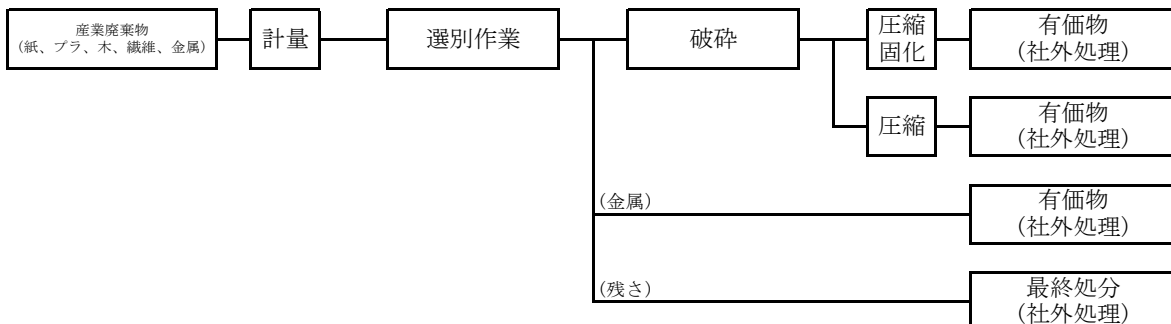
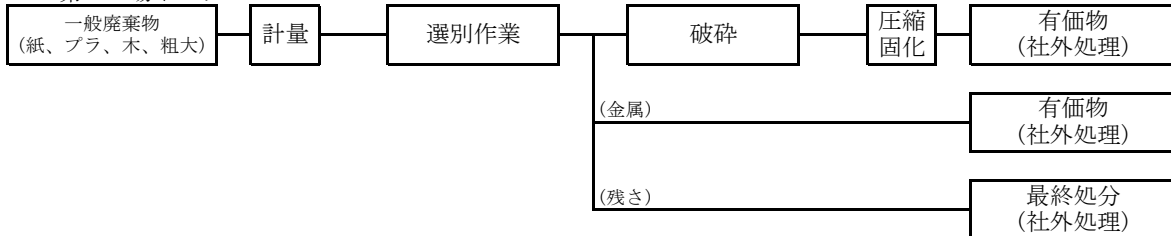
1. 本社



2. 第一工場リサイクルセンター



3. 第二工場トータルエコロジー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年	2016年	2013年 (基準年度)	2019年 レポート対象年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	549,295	578,963	515,202	540,959
受託廃棄物量	t	-	213	487	3,858
廃棄物排出量(自社)	t	11	76	47	18
一般廃棄物排出量	t	11	37	23	10
産業廃棄物排出量	t	-	39	24	8
水使用量	m ³	2,551	2,454	2,512	1,935

※二酸化炭素排出係数 0.009 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		2020年	2021年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	4,142	4,059	3,275	4,018	3,976
	売上比	3.98	3.90	2.73	3.79	3.75
	基準年度比	2017年	98%	69%	97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	482,673	473,019	509,279	468,193	463,366
	売上比	464.11	454.83	425.26	450.19	445.54
	基準年度比	2017年	98%	92%	97%	96%
構内で使用する重機等の燃料使用量の削減	kg-CO ₂	28,388	27,820	28,405	27,536	27,252
	売上比	278.31	272.75	214.31	269.96	267.18
	基準年度比	2017年	98%	77%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	515,202	504,898	540,959	499,746	494,594
一般廃棄物(自社排出)の削減	t	23	23	10	23	22
	基準年度比	2013年	97%	42%	97%	96%
産業廃棄物(自社排出)のリサイクル率の向上	t	-	-	8	-	-
	%	-	90%	100%	90%	90%
受託した一般廃棄物のリサイクル率向上	%	-	-	1,613	-	-
	基準年度比	-	90%	99%	90%	90%
受託した産業廃棄物のリサイクル率向上	%	-	-	1,569	-	-
	基準年度比	-	90%	70%	90%	90%
水道水の削減	m ³	2,794	2,738	1,935	2,710	2,682
	基準年度比	2013年	98%	69%	97%	96%
化学物質の管理	行動目標					
社会貢献への環境配慮	%	-	100%	100%	100%	100%
※実施件数						
グリーン購入の推進	%	-	40%	30%	50%	60%
収集運搬における環境配慮	行動目標					

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	全社的な数値としては全期間において目標を達成できた
・単純なCO ₂ 排出量の削減は、売上増の中で対応が難しくなっているため、基準年度を2016年から2017年に変更し、売上比でのCO ₂ 削減量を目標とする。	◎	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	通年の目標は達成できたが、仕事量のバラツキもあり未達成の月もあった。省エネ走行を周知徹底し単月目標の達成に取り組む
・単純なCO ₂ 排出量の削減は、売上増の中で対応が難しくなっているため、基準年度を2013年から2017年に変更し、売上比でのCO ₂ 削減量を目標とする。	○	
構内で使用する重機等の燃料使用量の削減		
数値目標	○	年度末の繁忙期に伴い未達成が1度だけあった。目標管理方法を見直して通年で目標達成できるように改善する
・単純なCO ₂ 排出量の削減は、売上増の中で対応が難しくなっているため、基準年度を2013年から2017年に変更し、売上比でのCO ₂ 削減量を目標とする。	○	

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容(続き)

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
一般廃棄物(自社排出)の削減		
数値目標	○	新規業務に伴う書類等の廃棄に起因して、目標未達成となっている。基準年度の見直しを含めて目標設定について再検討が必要と判断します。
・リサイクルボックスでの分別を行う。	○	
・ボックスに種類を明示し、リサイクル推進を図る。	○	
・		
・		
産業廃棄物(自社排出)のリサイクル率の向上		
数値目標	○	問題無く目標達成した。 継続して取組む
・リサイクルに配慮した中間処理業者を選択する。	◎	
・廃棄物の分別に努め、リサイクルの推進を図る。	◎	
・		
・		
受託した一般廃棄物のリサイクル率向上		
数値目標	○	問題無く目標達成した。 継続して取組む
・廃棄物の分別に努め、リサイクルの推進を図る。	○	
・		
・		
・		
受託した産業廃棄物のリサイクル率向上		
数値目標	×	搬入物中の不適合物の物量に起因して目標達成できなかった。工場から指定する事が難しく改善が困難。 目標設定を見直す必要がある。
・廃棄物の分別に努め、リサイクルの推進を図る。	○	
・		
・		
・		
水道水の削減		
数値目標	○	問題無く目標達成した。 継続して取組む
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・社用車の洗車時の節水を励行する。	○	
・		
・		
化学物質の管理		
数値目標	○	問題無く目標達成した。 継続して取組む
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・		
社会貢献への環境配慮		
数値目標	○	問題無く目標達成した。 継続して取組む
・地域のボランティア活動等に積極的に参加する。	○	
・環境に関する研究や活動を行っている団体等に対する支援、または協働を行う。	○	
・職場体験学習の受け入れを行う。	○	
・子ども110番車輛を通して防犯・地域支援協働を行う。	○	
グリーン購入の推進		
数値目標	×	グリーン購入対象品かどうか判断が出来ない取引が増加傾向にある。 取引先の協力を打診する。
・再生紙や未利用繊維製品への転換を図る。	○	
・再生材料から作られた製品を優先的に購入する。	○	
・		
・		
収集運搬における環境配慮		
・積み込み時に騒音を立てない	○	問題無く目標達成した。 継続して取組む
・積み忘れをしない	○	
・汚した場合は清掃を行う	○	
・休憩時等の停車時はアイドリングストップ	○	
・車両火災対応訓練を実施する	○	
・		

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理及び委託契約
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
NO _x ・PM法	排気ガス規制・排ガス適合車輛へのステッカー貼付
消防法	指定可燃物の扱い、防火管理(消防設備点検)
グリーン購入法	物品購入、提供を受ける場合は出来る限り環境物品等を選択するよう努め
水質汚濁防止法	保守点検、清掃及び定期検査
化学物質排出把握管理促進	盗難/漏洩防止、容器・貯蔵場所の表示、事故・盗難時届出(警察)
水質汚濁防止法	特定施設の設置届(71の2に関わる洗浄施設)
フロン排出抑制法	フロン類の適切な回収、業務用エアコンの簡易点検
高圧ガス保安法	一般高圧ガス保安規則(ボンベ類の転倒防止)
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機の回収
小型家電リサイクル法	小型家電96品目の回収
自動車リサイクル法	自動車の登録抹消、廃自動車手続き

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

2019年度は、昨年未達成となったリサイクル関連目標について、処理制度自体の見直しも行われている中で、自社の取り組みとして何が出来るのかを検討していたが、未達成となった。2017年版ガイドラインに則り、本件を「課題とチャンス」とし、環境方針に取り込み、より一層の取り組みを行うこととする。

□環境活動の紹介

項目	活動内容	
1.自動車燃料・電力の二酸化炭素低減	1)消費電力の低減	①事務所内の不要な照明灯・OA機器類の消灯 (昼食時間1時間・17時以後の徹底) ②デマンドの活用による、消費電力の見える化 ③エアコンの推奨設定温度の表示 ④グリーンカーテンにより室内温度の上昇を抑制、 エアコンの消費電力を低減させる。
	2)消費燃料の低減	①BDF使用車両の運用 ②低燃費車両の運用
2.廃棄物	1)廃棄場所の標識設置	①廃棄場所に物品別に標識を付け分別・リサイクルする。
3.水使用量低減	1)節水の励行	①水道メーターの設置による、節水意識の呼びかけ。
4.グリーン購入	1)事務用品・他	①再生紙・グリーンマークの入った商品を優先的に購入する。 購入品は、筆記用具・コピー紙類。
		②ハイブリッドカーの購入

1. 電力による二酸化炭素排出量の削減

[節電の呼びかけ]



[エアコンの推奨設定温度の表示]



[デマンドによる消費電力の見える化]

2. 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

[BDF燃料使用車両の運用]



[低燃費車両の運用]



3. 一般廃棄物の削減

[廃棄物場所の表示]



[廃棄物場所の表示]



4. 節水

[節水の啓発]



[水道メーターの設置]



5. グリーン購入

[省エネパソコンの導入]



[ハイブリッドカーの購入]



6. 環境に配慮したサービス
[淡海エコフオスター活動の実施]



[こども110番活動]

